

令和6年度第1回大分県総合教育会議 議事要旨

【日程】

日時 令和6年7月26日（金）

開会 15時00分 閉会 15時50分

場所 県庁本館4階 第一応接室

【出席者】

総合教育会議構成員 大分県知事	佐藤樹一郎
大分県教育長	山田雅文
大分県教育委員	岩崎哲朗
大分県教育委員	高橋幹雄
大分県教育委員	鈴木 恵
大分県教育委員	岩武茂代
大分県教育委員	岡田豊弘

【協議事項】

- (1) 次期「大分県教育大綱」の策定について
- (2) 国民スポーツ大会と競技力向上について

【発言要旨】

協議事項（１）次期「大分県教育大綱」の策定について

（要旨）

- ・ **現在策定中の県の新長期総合計画に盛り込まれている教育、学術及び文化の振興に関する項目を整理し、新たな教育大綱を策定**
- ・ **新たな教育大綱は、遅くとも令和7年4月を始期とする方向で検討予定**
- ・ 県の新長期総合計画の素案は、県民や各関係者の意見等も盛り込まれており、わかりやすくまとめられている。新しい教育大綱はこれを活用すべきであり、事務局の方針に異論はない。（鈴木委員、高橋委員、岩崎委員）
- ・ 県の新長期総合計画と新たな教育大綱の方針は当然整合すべき。具体的な取組（教育委員会所管分）については、現在策定作業中の県長期教育計画に盛り込むよう検討する。（山田教育長）

協議事項（２）国民スポーツ大会と競技力向上について

（要旨）

- ・ **国民スポーツ大会は、競技力向上や地域の活性化等の観点から、開催の意義は大きい**
- ・ **開催方法に関しては、近隣県での競技施設の共有など、開催県の負担軽減等についてあり方を検討すべき**
- ・ **例えば、テレビ放映に関するスポンサーの獲得のほか、競技団体によって配信状況に差があるため統一的な対応に向けた指針を示すなど、工夫の余地がある**
- ・ パリオリンピックに多くの県出身選手が出場しているが、その基礎となっているのはやはり国民スポーツ大会を目指して行ってきた選手育成・強化である。スポーツは人を育てる上で大きな要素であり、国民スポーツ大会は継続してもらいたい。（高橋委員）
- ・ スポーツ振興と青少年の健全育成のため、ぜひ続けてもらいたい。財政負担は大きいかもしれないが、開催による地元の経済効果は大きい。また、現状ではあまりテレビ放映等が行われていないので、スポンサー獲得などの工夫もできるのでは。（岩武委員）
- ・ 成果も課題もあるが、子どもやお年寄りがスポーツの良さを感じられるような大会として継続してもらいたい。様々な知見を生かして大会のあり方を検討すべき。（岡田委員）
- ・ 国民スポーツ大会は県内のスポーツや競技力向上に関して目を向ける良い機会。活用できる施設は共有するなど、工夫しながら継続してもらいたい。（鈴木委員）
- ・ 競技力の向上や経済的な波及効果を考えると、地域の活性化のためにも開催する意義は大きい。競技施設については、近隣県で補完するなどの工夫はあり得るのでは（岩崎委員）
- ・ 都道府県別の順位付けは競技人口が大きい団体が優位になる。都道府県対抗は必要だが、他県から選手を借りてまで行う必要はあるか。（高橋委員）
- ・ 県民の郷土意識、ひいては本県への定住意識の醸成にも寄与する。現在の国民スポーツ大会の形は維持しつつ、費用がかからないよう簡素化していくことが望ましいのでは。（山田教育長）
- ・ 競技団体によってはインターネットで競技の状況を配信するなど工夫している。各競技団体で統一的に対応するよう、指針などを出すべきでは。（鈴木委員）

以上